



医療
分野

介護施設内運搬ロボットシステムの商用化とその社会実装

介護施設における間接業務（物の運搬等）を、移動ロボットで代替ないし支援する安価なロボットとそのサービス量産レベルで実現する

現状 背景

- 介護施設においては、本来業務である介護行為のほかに行う**間接業務が発生し、介護職員の疲弊につながるとともに介護サービスの質の低下が懸念**されている
- 福島県の相双地区にある介護関連施設では**職員が70%程度も不足**しているとのデータもある

開発 目標

- 簡単操作による目的地設定、自律走行による運搬、障害物センサによる衝突回避が可能な自律走行ロボットの開発
- 移動機構・音声認識・音声合成・顔認証などを簡易なWEB系言語で操作可能にするロボットプラットフォームの開発

先進性

- RFIDマーカーにより自己位置を認識させることで**安価でかつ確実性の高い移動システム**を実現
- 微小な位置修正技術により**安定した走行**を実現
- マイコンとPCによる制御や分散型のシステムを採用し、**安定性と汎用性を両立**
- キャッシュレス決済や施設内の既存システムとの連携が容易な**汎用プラットフォーム**

事業化 目標

- 2020年度には、介護業界に加え、同様に人材不足が深刻な飲食分野等へ向けて、100台程度の販売を目指す

事業者 概要

《事業者名》SOCIAL ROBOTICS株式会社《事業内容》人と共に社会で活躍するロボットのモデルを打ち立て、人とロボットが共生する社会の実現を目指すを経営理念とし、各種用途のロボット（生産・生活・災害対応、精算支援機械・産業用、生活支援等）の設計、製造、販売、コンサルティング等を行う
 《創業》2015年7月《住所》東京都八王子市美山町2161-12《HP》<https://social-robotics-japan.com/>
 《問合せ先》050-5577-6425(担当：浅野)



移動ロボット「BUDDY」



食事等の運搬イメージ